

成蹊會誌

第四號

成蹊會地方支部結成について

會員の皆様、新年の御祝いを申し上げ、慇々御健勝に御活躍の程を御祈り致します。

さて成蹊會は、母校成蹊學園の發展と共に會員數も増加し、その基礎も強化され、社會の各方面に活動致しておりますことは御同慶の至りであります。従つて會員の活動分野も成蹊會名簿に於いて示されます通り東京のみに限らず日本各地に跨つており、遠く離れた會員こそ却つて成蹊會活動に關心を持つてゐる現状であります。然る處東京に於きましては毎月の例會、春の演劇・音楽會、夏のビールパーティ、冬のダンスパーティ、學園で催される各種記念祭・運動會等會員の集まる機會は多々ありますが、地方會員は遠隔の爲その機會に恵まれず唯會誌・名簿等を通じて消息を知るのみであります。

○九州支部（十月十四日設立）
所在地 福岡市宮崎町九州大學理學部中村教授室
支部長 妻木徳一 副支部長 村上正夫

幹事 柳瀬正光、中村浩

○關西支部（十月十七日設立）
所在地 大阪市北区宗是町一旭化成工業小幡謙三内
支部長 平生太郎 副支部長 小幡謙三

幹事 田邊晋 松木良祐 中田專一 收原薫 廣澤俊夫

○東海支部（十月十九日設立）
所在地 名古屋市中區櫻町一十一瀧兵株式會社 瀧兵右衛門内
支部長 井口史郎 副支部長 瀧兵衛門

幹事 丹治道生 阪谷芳信

右の様な組織は發足致しましたが旅行中各地で思はざる大歡迎を受け盛大なる發會式が催されましたことは望外のことであり、成蹊會の益々發展することを確信致しました。と同時に各地に於いて轉旋の勞を執つて下さいました諸氏に厚く御禮を申し上げます。その發會式の模様につきましては各支部役員の方から玉翰をいただきましたので茲に掲載致しましたから御覽願ひ度いと思ひます。唯關西支部の分は締切の都合上次號に譲ります。

本部の計畫はこれに止まらず次に東北支部、北海道支部も結成致し度く準備出來次第出張する豫定ですからその節は右地方在住の會員も欣然參加される様お願い致します。この外會員消息欄を拜見しますと千葉・新潟等各地で同窓會が行はれて

支部發足に當りて

妻木 徳一

九州成蹊會支部長
十月十四日に成蹊會九州支部會が生れ出しました。恰度丹羽孝三會長、谷岡喜久藏幹事が東京から來られて機いよいよ熱して支部會が發足したのです。私が支部長にどうしたこと、どうも無能でもあり無精者でもあるのでどうかと思つたのですが一番先に成蹊を出たという唯そのことだけで結局御引受いたし村上正夫副支部長、柳瀬正光、中村浩兩幹事にお援けをいただく事になりました。従來關西で成蹊なつかしさのあまりなんとなく集つて食卓を圍んで昔を偲んだことはあつたのですが今度は全九州を網羅していかにもつともらしい發會式を行つて支部會が成立しました。うれしいことです。

成蹊會 幹事 谷岡喜久藏記
おたり又銀行勤務會員の集會、建築専門家の會合等、活潑である模様ですが是非この種の催しを盛大なものにして支部に送發展する様希望致しますと同時に、本部宛御報告下さればその都度成蹊會誌に御披露致し度く存じます。

南のかた鹿兒島に於て櫻島の噴煙を眺め乍ら之を唱和するのよいではありませんか。又古郡長崎に於てゆかしく唱へる心方歌もよき哉であります。或は又不知火ともる有明の静波に亘るよう流れ出る心の力もすばらしいではありませんか。私共は今後このようにして各地で成蹊の集會を催して母校をしのぶと共に成蹊の精神をよびもとして活動の糧と致し度いと思ひます。その都度支部の困難な世相に直衝して、不言實行と、つねに新に進む中村先生の御教示がひしひしと身にしみて感ぜられると共に、反抗とか闘争とかの多い世の中にいつも變らぬ成蹊の和氣感々たる親しさに觸れる事は殊のほかうれしく感ぜられます。

西の端に成蹊の一翼として九州支部が出來た事を御披露いだし遙かに母校の御發展を祈ります。
(九州大學理學部長、理博 中學第一回卒業)

東海成蹊會副支部長 瀧 兵右衛門
成蹊會も今回各地に支部を設けられる事となり當地方に於ても十月十九日本部より丹羽會長、谷岡幹事御

兩氏の御來名を願ひ東海支部を結成し再發足する事となりました事は學園にとつても亦吾々卒業生にとつても誠に有意義な事と御同慶の至りでありませぬ。當地に於ては以前同窓會として一年に一度位い會合をして居りましたが今度の様なしつかりした組織もなく唯同志相寄ると云つた程度ではありましたが御互に成蹊人としでの誇りは持ちつづけて参つたもので、今後支部としてどこまで發展する事が出来るかは分りませんが會員相互の協力によつて何とか立派なものにしたい念願で居ります。そして各支部との連絡を出来る丈密接にし成蹊會全體として大成する様心がけねばならぬと存じます。當地方が以前から卒業生の數が少なからずが健在だと考へてもどうにもならぬ點がありましたが最近では名古屋大學が綜合大學として再出發致しました結果大分人數も増へ現在では約四十數名に達し支部としても大體形丈は出來る様になりました。將來はこれ以上増へる事はまづ間違ひないことと楽しみにして居ります。只今支部長の井口氏が御病氣御静養中一寸再出發に際して一抹の淋しさを感ぜられますが一日も早く御全快下さる様會員一同心から祈つて居ります。毎月廿一日午後五時集合し誠に簡単な食事を共にし色々な話題が出て仲々愉快です。そして心方歌を心から齊唱する時成蹊人である特別の喜びを感じうれしさでいっぱいですが、今更乍らあの心方歌の一言一句の有難さ尊さをひしひしと身にこたえます。心方歌こそ成蹊精神のシンボルとして永遠に残し精神のシンボルとして將來大いに發奮し少しでも社會のため御盡し出來ればこれに過ぎる幸福はありません。終りに各方面から寄せられた御厚意、御協力を深謝致し御挨拶と致します。
(瀧兵株式會社社長 高等學校第三回卒業)